

環境宗教学基礎		選択	2	専門基礎 5105 教室
講師名	所属	オフィスワー・場所		連絡先
岡田真美子	環境人間学部	要予約新在家 E303		okada-hisyo@shse.u-hyogo.ac.jp
講義目的	宗教に関する基本的な知識、環境を守って来た宗教の役割について学びながら、共生のネットワークについて論考する。			
講義内容 授業計画	環境宗教学を学ぶための宗教的基礎（1-6 講）山海の環境学（7-10 講）、共生のための宗教的感性（11-13 講）など日本・アジアの宗教的知的遺産を学ぶ。			
	1	4/10	プロローグ：「ホームチャペルのある日本」	
	2	4/17	単数形の神様とグローバリズム	
	3	4/24	単数形の神様入門ーイスラームの世界	
	4	5/08	複数形のカミサマ入門ーヒンドゥーの世界	
	5	5/15	複数形のカミサマ入門ー日本の神々	
	6	5/22	仏と菩薩ー覚りの世界	
	7	5/29	神と水のネットワーク	
	8	6/05	ため池と寺社	
	9	6/12	山の環境保全と修験道	
	10	6/19	山神・海神の祀りと環境保護	
	11	6/26	いのちの循環～火葬場と墓地の環境学	
	12	7/03	虫送り行事とエコロジー	
	13	7/10	いのちのパラダイム～モノのいのち論	
	14	7/17	エピローグ：ワークショップ「宗教とわたし」	
15		レポート		
テキスト 参考文献	教科書は使わない。			
成績評価 の基準	レポートによって評価する。講義への参加状況も考慮する。			
履修上の 注意 履修要件	毎時間コミュニケーションカードを配布回収し、次回返却する。このカードとレジュメはきちんとファイルしてゆくこと。（◎最終回にファイリングしたものを持参してもらい、これを用いてワークショップをする）			
備考	質問届けその他はメールで提出すること。件名：2008 環境宗教学 I(学籍番号)あて先は okada-hisyo@shse.u-hyogo.ac.jp			

レポートに関する注意

分量 A4 用紙 3 枚（図・グラフを含む）1 枚 40 字×40 行 [フェイスシートをつける]
 内容 講義のトピックの内ひとつを選び、①初めて知ったこと、②インパクトを受けたこと、人に話したいと思ったこと、③更に深く知りたいと思い調べたこと、今後の課題だと思ったこと④その他）をコミュニケーションカードよりやや詳しく述べる。特に中心となるのは③の部分をも自分で調べてまとめたところと考察。

〆切 7 月 26 日(金)14:00 E301 高石さんに手渡しすること